

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
教頭	<p>1 開会のことば</p> <p>これより令和7年度加須市立元和小学校 第2回学校運営協議会を始めます。</p>
内田会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>本日は、ご多用の中、お集まりいただき、ありがとうございます。本日は、第1回の会議を生かして、話し合いを有意義に過ごせたらと思っています。子供たちのために、いろいろとお知恵をいただきたく存じます。どうぞよろしくお願ひします。</p>
江利川校長	<p>3 校長あいさつ</p> <p>前回の第1回から5か月ほど過ぎ、令和7年度も折り返しとなっております。運動会も1学期に行っていることから、全校での大きな行事はありませんが、各学年では校外行事等を行っています。大きな事故もなく、ここまで学校運営を行って来られたのも、委員の皆様のおかげです。本日は、第1回に話題に上がったことをピックアップしていただいて、会長さんを中心に熟議を行っていくことが中心となります。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。</p>
内田会長	<p>4 熟議</p> <p>それでは、熟議に入ります。一つ目のテーマは、「登下校の安全確保について」です。</p> <p>まず、学校の取組としては、毎月1回、教員が登校指導を行っております。保護者としては、学期初めの旗当番、放課後のパトロールなどを行っています。</p> <p>課題としては、学校の教員にも聞いてみたのですが、雨の日に車での送りが多いため、班の人数が少なくなってしまうこと、また、下校時にも学童やお迎えで人数が半分に減ったり、一人になってしまう児童がいたり、一定でないことが挙げられます。地域の人に見守りに立ってもらっていても、子供がいないということも考えられます。</p>
関口（佑）委員	<p>これらのことは簡単には改善策は出てこないとは思いますが、何かよい方法が見つければと思い、提案させていただきます。</p> <p>朝の見守りを行っていますが、登校班で、来るのか来ないのかわからない子がいます。班がまるごと来なかったり、少数しか来ない時もあります。</p>
井上委員	<p>朝、同じ班の親同士のグループライン等でやりとりをして、連絡が来ないと待つこととなります。早く出ないと遅刻してしまうし、一人</p>

	<p>で走っている子も見かけます。班からはぐれて登校する子もいます。また、歩いている最中に、時間帯によっては固まって登校することもあり、班が乱れて自分の班長がどこに行ったのかわからないことになってしまうこともあります。副班長がいればいいのですが、その日にいないと声をかける子もいなかったりします。</p>
江利川校長	<p>カスミの裏あたりから、児童はほとんど車が通らない道を通ってきます。同じ時間帯に集団で広がって登校してきます。この地区は広がらないといけなくらい人が多いです。子供たちが途切れなくて車が出られないという連絡を地域の方からいただいたこともあります。</p>
井上委員	<p>下校については、元和小の半分の子が学童に行っています。そのため、そもそも家に下校する人数が少なくなります。人が少ない中、帰らせることに不安を抱えている保護者もいます。</p>
江利川校長	<p>一斉下校を見るとわかりやすいですが、児童の3分の1はお迎え、3分の1が学童、残りの児童が歩いて下校という形になっています。</p>
小林委員	<p>6年生がいれば安心ですが、1年生だけで帰ってくるのが不安な部分があります。</p>
江利川校長	<p>授業時間の関係で、1年生と6年生が下校時刻が変わってしまいます。実際は、同じ時間帯で下校する学年下校になっています。</p>
井上委員	<p>迎えに来ないと習い事に間に合わないという子もいます。見守ってくれている地域の方もいるし、様々な考え方がありますが、難しいと思っています。</p>
関口（佑）委員	<p>幼稚園では、お迎えも連絡アプリを使っています。うまくそのようなものを使えば、把握できるかもしれません。</p>
江利川校長	<p>学校では、現在、市内一斉で tetoru というアプリを使っています。現在は、出欠・健康観察のみに使用しています。お迎えの連絡等にも使えるかどうかはわからない状況です。</p>
井上委員	<p>学校との連絡ができるアプリ等があると、教員の負担軽減にもつながるのではないのでしょうか。</p> <p>保護者同士では、地区役員がグループ編成を行っています。子供会がある地域では、子供会の歓送迎会を行っているので、その際に連絡先を交換しています。子供会がない地域では、入学説明会の際などに連絡先を交換していたりします。そのときの役員さん次第になっているのが現状です。6年生は、陸上競技会の集合写真を共有するためにライングループを組みました。学年や地区によってやり方が異なっています。</p>
関口（優）委員	<p>学校からの連絡はどうなっているのですか。</p>

江利川校長	学校からは tetoru というアプリで連絡配信をしています。手紙を PDF で貼ることもできますし、文書がないものは本文に入れて連絡を送っています。学年ごと・学級ごとに送ることができます。
井上委員	うちの班では、集合時刻になったら出発するということを伝えていきます。グループラインを作ったときに、出発の 10 分前に連絡がなかったら出発するということにしています。これは、班によって様々で、やり方も様々だと思います。
江利川校長	班長の負担も大きくなっているのかなと感じます。1 人の 6 年生が 5～6 人の 1 年生を連れてくるということもあります。これは数年すれば改善されると思いますが、今が一番大変な時期かもしれません。
井上委員	今、多いのは、カスミ・カインズの周りです。新しい住宅が増えていて、1 年生がとても多いです。1 年生はいろいろなものに興味があり、大変です。
江利川校長	子供会があるところはやり方等が引き継ぎされていくのでよいのですが、地区役員しかいないところは、初めての中、問い合わせもあり大変と聞いています。情報交換や話し合えるところがあるとよいと思って校長に相談しています。
井上委員	子供会の役員さんや、地区役員さんが集まれる場をつくれたらと思っています。
関口（優）委員	地区での横のつながりができると、危険箇所の把握もできます。
江利川校長	今、自治会自体に入らない人も増えています。そこが根底なのではないでしょうか。自治会ならいろいろな情報が入ってきます。
江利川校長	「若いうちはいいのですが、年をとっていくと地区のつながりがないと大変になっていく」という話を聞きます。
関口（優）委員	元和は、のんびりした地区でした。
井上委員	今、代々住んでいる方ではなかった人が増えています。ちょっと前までは、自治会に入っていないと子供会にも入れませんでした。もともと住んでいた地域に自治会がなかった人も多く、入るメリットも感じられない人も多いのではないのでしょうか。そうなると、なかなか保護者が情報を得られる機会がないのだらうと思います。
内田会長	ネットワークが大事だということでしょうか。学年でも、地区でも必要となってきたようです。地区ごとに集まる機会を設けるというのはとてもよいと思いました。
江利川校長	学校によっては、学級懇談会の後に地区懇談会をやる学校もあると聞いています。せめて顔を知るということもあります。登下校についても、対策がすぐに必要なものもありますが、地域に根付いたものに

	<p>していくことが大切なのかもしれないと思いました。</p>
内田委員	<p>次に、「児童に伝えたい元和地区のよさ」について話し合いたいと思います。外部から転入してきた子も多いので、地区のよさをわからない人もたくさんいると思われます。ここでの「よさ」は、お祭りということだけにとどまらず、田んぼが多いとか、3世代で住んでいる人が多いなど、広いものも含んでいます。</p>
江利川校長	<p>地域には、いろいろな人がいろいろな組織に属しています。教職員もどんな人がいて、どんな活動をしているのかわからないのが現状です。かつてやっていたこと、今でもやっていることを知って、伝えていけば、子供たちから親に伝わることもあると思います。また、学習につながる部分もあります。我々や子供たちが知らなさそうなことを教えてもらいたいです。その窓口なども教えてもらえるとありがたいです。</p>
関口（優）委員	<p>昔は、七輪で火起こしとかも行っていました。他には、何かあったときに「無事です」カードを玄関先に掲げるなどの活動もあります。</p>
関口（佑）委員	<p>北平野の方が、ホタルの飼育を行っています。</p>
江利川校長	<p>学校でも、子供たちに向けて体育館でホタル観賞を行っています。</p>
井上委員	<p>駐在さんが大人気です。</p>
小林委員	<p>地域には「ささら」があります。もともとの文化財ですが、実行できる人がいなくなってしまうています。</p>
江利川校長	<p>先日、地域の方がお見えになり、ささらに関して今の時期に継承していかないとできる人がいなくなってしまうということで、高学年を中心に案内をしたことがあります。</p>
小林委員	<p>地域には天王様のお祭りもあります。今は6月にやっています。</p>
井上委員	<p>天王様は、子供会が中心となってやっています。五穀豊穰と住民の安全を願って神輿で練り歩きます。</p>
関口（優）委員	<p>前は、子供会等で資源回収を回っていました。</p>
井上委員	<p>資源回収は、各地区の負担が大きく、特にカスミ・カインズのあたりはそもそも収集場所や集会所の場所がわからないという問題がありました。現在は、持ち込み方式にしています。資源の回収は減ってしまいましたが、仕方ないと思ってやっています。</p>
関口（優）委員	<p>子供が大きくなったとき、つながりがなくなってしまうのが課題だと感じています。</p>
江利川校長	<p>役についていない地域の方にどのように来てもらえるのか、つながりをつくれるかが課題だと思っています。バザーとかも地域の方に来てもらえる行事でした。</p>

関口（優）委員	役をやっている方は、大変さをわかっています。何もやっていない人は、なかなか大変さをわからないことが多いと思います。役をやると、大変なこともあるけれど、メリットが大きいと感じています。大変なことがなくて、メリットだけというものはないのではないのでしょうか。ずっとこの地域に住んでいくなら、知っていて損することはないと思います。
内田会長	子供会は、天王様以外にどんなことをやっていますか。
井上委員	歓送迎会をやっています。ゲームをやったり、進級のプレゼントを贈ったりしていました。歓送迎会の時に、通学班で並ぶので、そのときに班長の顔が分かります。だから、琴寄地区はスムーズなのかなと思います。
小林委員	実際に天王様をやっているのは、琴寄本田地区くらいではないでしょうか。今回は雨で中止になってしまいましたが。
内田会長	婦人会はどのような活動をしているのでしょうか。
関口（優）委員	防災とか、婦人会のパンフレットがあるので、今度持ってきます。他には、昆布を売ったり、昔は防災頭巾を作ったりもしていました。3. 1 1のときは、騎西高校に炊き出しに行ったりもしました。愛育会（母子愛育会）は、健康の方面で赤ちゃんやお年寄りについての活動をしています。イベントや子育てサロンを行ったりしています。回覧で情報は発信しています。
江利川校長	この話題にした理由の一つが、総合的な学習の時間として地域のことを学習する時間でお力をお借りしたり、子供たち自身が学んだりということにつながればと考えたからです。
関口委員	私は裁縫が得意です。バッグとかも自分で縫って作ったりします。
江利川校長	保護者向けの講座などを開いてみてもいいかもしれませんね。
内田会長	今、出てきたものも、子供たちの学習の中に取り入れていけるものもあるかもしれませんし、地域のことを知ることも大切だと思いました。このテーマにおいても、人と人とのつながり、ネットワークが大切だと感じました。ありがとうございました。
	5 情報交換
関口（佑）委員	最近、不審者の情報が度々寄せられています。不審者を見かけた際は、警察と学校に連絡を入れていただくようお願いします。また、学校からの連絡がないことも多いので、一報を入れていただくと助かります。
	6 諸連絡

教頭	<p>次回の学校運営協議会は、2月6日（金）を予定しています。次回は、学校関係者評価について行う予定です。学校関係者評価については、資料にも入っておりますので、ご確認をよろしくお願いいたします。また、評価するにあたって、教育活動をご覧になりたい場合は、遠慮なく学校までご連絡ください。</p>
	<p>11 閉会のことば</p>
教頭	<p>以上で、令和7年度加須市立元和小学校 第2回学校運営協議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和7年10月29日 署名 <u> 教頭 萩原 健司 </u></p>	

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。